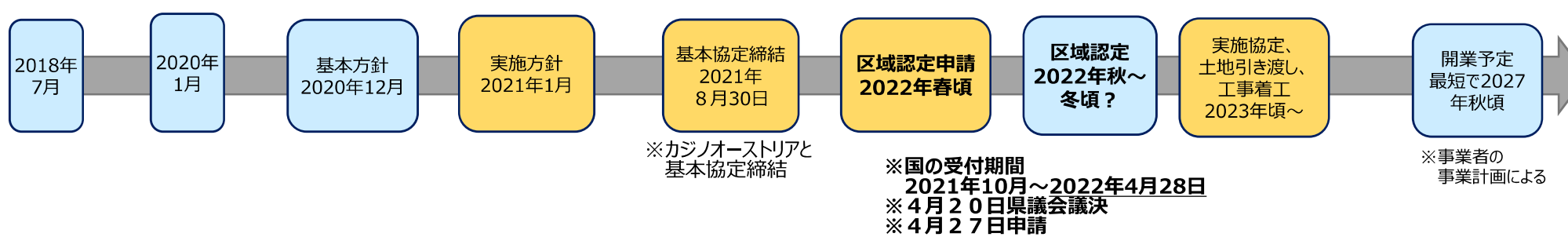
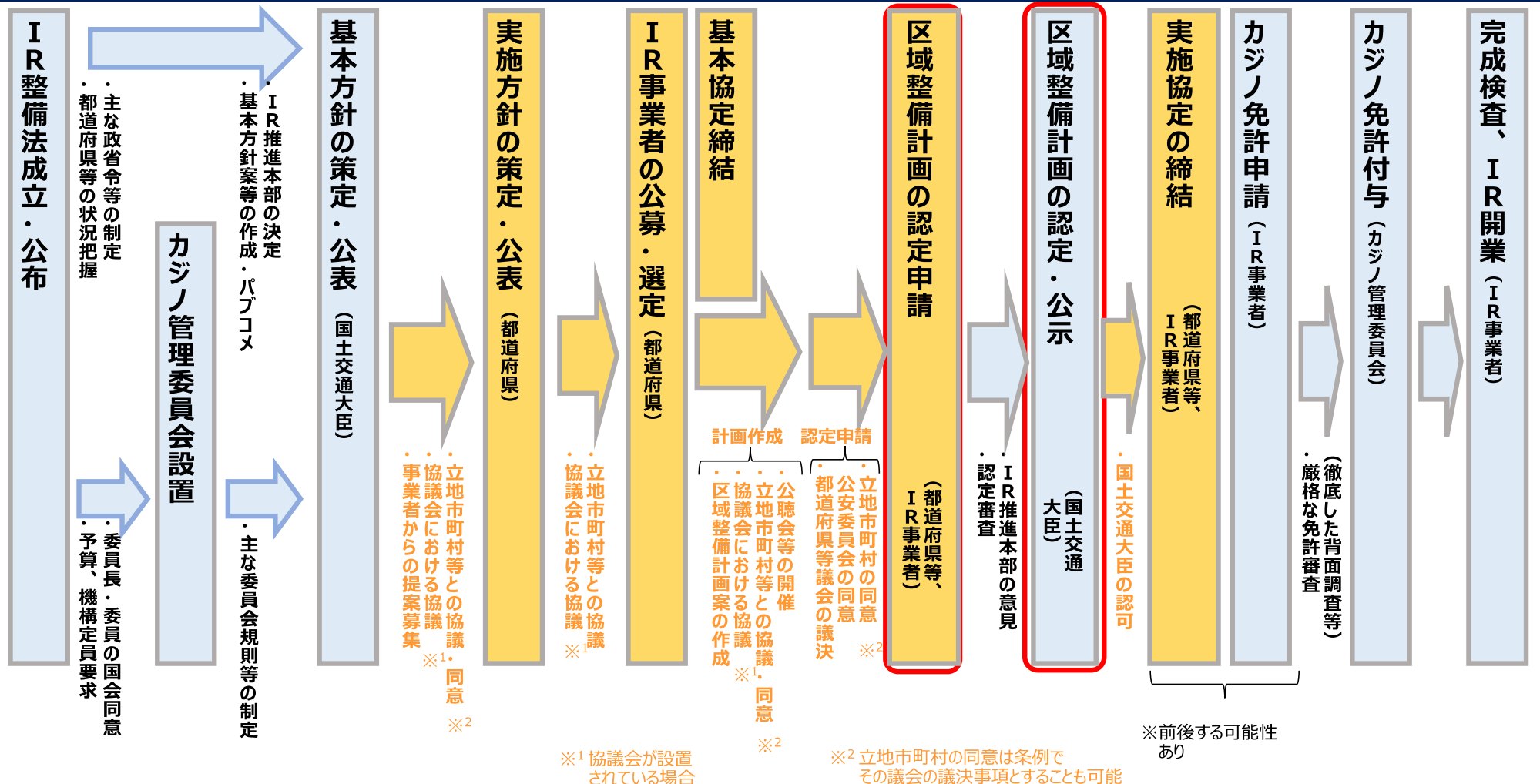


九州・長崎IRの進捗状況等の報告について

1. 九州・長崎IRの開業までのスケジュールについて (P 1)
2. 九州・長崎IR区域整備計画の概要について (P 2)
3. 九州IR推進協議会の活動状況について (P 3)
4. 九州地方依存症対策ネットワーク協議会の活動状況について (P 4)

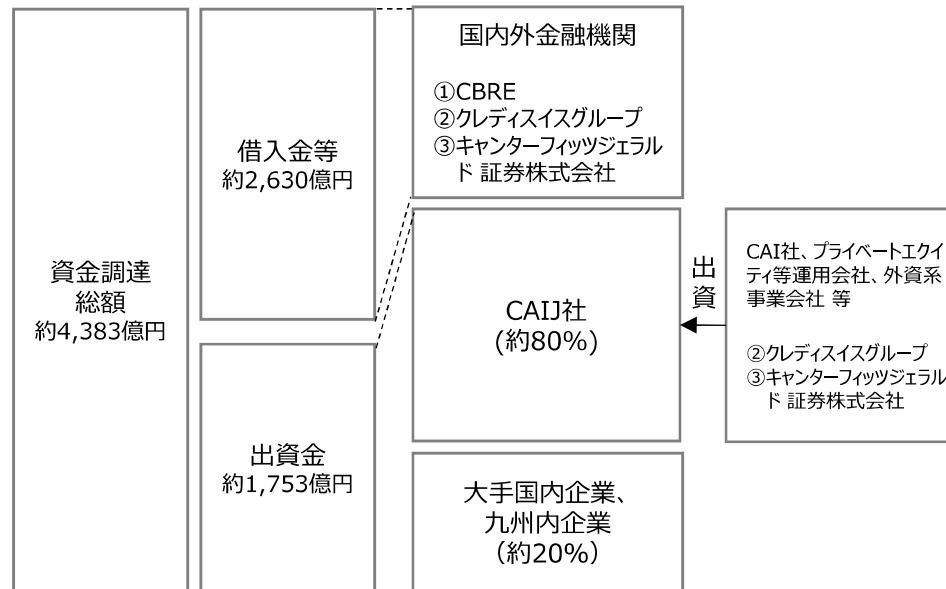
九州・長崎 I Rの開業までのスケジュール



九州・長崎 I R 区域整備計画の概要について

資金調達計画

- **資金調達額 約4,383億円**
※設備投資額 約3,527億円(不動産取得費、I R 事業者負担金含む)
- **株主からの出資金 約1,753億円**
※CAI社、プライベートエクイティ等運用会社、外資系事業会社等の投資家は CAIJ社への出資を通じて I R 事業者に間接的に出資する。
- **金融機関からの融資 約2,630億円**
※シニアローンやメザンローンによって調達予定。
- 出資金、借入金等の資金調達に関しては、代表企業及び I R 事業者と資金提供者の直接協議に加え、大型不動産開発やゲーミング業界における投資銀行業務において実績のあるCBREのほか、クレディスイスグループ、キャンターフィッツジェラルド証券株式会社の支援を受け、国内外の事業会社及び金融機関からの資金調達を実施する。
- その他の資金調達に関わる企業については、事業者間の協議が整い次第、速やかに公表予定。



資金調達を支援する会社概要

① CBRE

本拠地	アメリカ テキサス州ダラス
設立日	1906年
事業内容	①ファシリティマネジメント ②不動産開発・売買・賃貸借仲介 ③プロジェクトマネジメント ④不動産投資マネジメント など
代表者	ロバート・スレンティック CEO
<p>○世界各国に500以上の拠点を持つ、事業用不動産サービスで世界最大手の企業。2020年の売上高は238億ドル、従業員数は10万人を超える。</p> <p>○特に、同社の投資銀行部門(旧ユニオンゲーミング)は、ゲーミング業界に特化しており、同業界のファイナンスにおいてグローバルでの展開と12年の実績がある。</p>	

② クレディスイスグループ

本拠地	スイス チューリッヒ
設立日	1856年
事業内容	①証券・投資銀行業務 ②富裕層向け資産管理業務 ③資産運用業務 など
代表者	ティージェン・ティアム CEO
<p>○世界最大規模の国際金融機関。世界50カ国以上で業務を展開し、約5万人の従業員を有している。</p> <p>○創立以来150年に及ぶバンキング業務の実績を有し、世界中の事業法人、機関投資家、個人富裕層、スイス国内個人顧客など幅広い層の顧客に、専門的な助言や包括的なソリューション、革新的な商品を提供している。</p>	

③ キャンターフィッツジェラルド証券株式会社

本拠地	アメリカ ニューヨーク
設立日	1945年
事業内容	①投資銀行業務 ②不動産投資管理業務 ③市場情報提供サービス など
代表者	ハワード・ラトニック CEO
<p>○世界22カ国に150のオフィスを設置し、1万2千人を超える従業員を抱える世界有数のグローバルな金融機関である。</p> <p>○カジノリゾート開発を含め、資本市場、投資銀行、不動産投資管理等の分野において専門知識を有し、70年以上に渡り、世界中で約7,000社以上の機関投資家へサービスを提供しており、年間180兆ドルを超える金融取引を行っている。</p>	

九州 I R 推進協議会の活動状況について

1. 組織の概要

九州 I R 推進協議会（K I R C）は、九州への I R 誘致を実現し、高い経済効果を広く九州全域に波及させるために、九州及び長崎県の経済界、行政、議会が一体となった活動を行う目的で、令和 3 年 4 月に発足。

活動内容は、セミナー等の開催のほか、地元調達と九州の広域周遊観光の促進に向け 2 つの専門のワーキンググループ（WG）を設置し、I R 事業者と対話を行いながら、具体的な検討を進めている。

2. 活動状況

(1) 九州 I R ビジネスセミナーの実施

- 実施方法 オンライン配信
- 実施時期 令和 4 年 8 月 26 日（金）12:00～配信開始
※ 2 ヶ月間の配信開始
- 概要 テーマ：I R 産業における調達のプロセスと実例
内容：パネルディスカッション 及び ゲストインタビュー
- 参加者数 158 名（※令和 4 年 10 月 14 日現在）
- 主な内容
 - ・海外 I R での勤務経験等がある日本人 4 名のコーディネーター及びスピーカーによるパネルディスカッションでは、海外 I R における地元調達の現状、I R ビジネス参入へのチャンスをつかむプロセスなど、経験を踏まえた事例紹介

(2) 2 つのワーキンググループ（WG）の開催

① ビジネスネットワーク WG 会議

- 開催日 令和 4 年 7 月 26 日（火）
- 内容 I R 事業者の地元調達方針（案）について協議

② 九州観光周遊 WG 会議

- 開催日 令和 4 年 7 月 27 日（水）
- 内容 送客施設と各観光団体との連携体制の構築等について協議



九州 I R ビジネスセミナー出演者



九州 I R ビジネスセミナー パネルディスカッションの様相

九州地方依存症対策ネットワーク協議会の活動状況について

1. 概要

依存症には、アルコール、薬物、ギャンブル等の様々な分野があるが、専門家及び専門医療機関に限られていることから、九州一円が協力・連携して、依存症対策の促進を図ることが効率的かつ効果的である。

また、九州・長崎 I R の誘致が実現された際には、ギャンブル依存症等の対策の充実が必要であることから、I R を契機として、行政・医療・相談機関等で構成する「九州地方依存症対策ネットワーク協議会」を令和3年8月に設立し、様々な依存症対策の質の向上を目指す。

2. 組織等

- ①構成メンバー：九州・山口各県の以下の機関
 - ・ 依存症治療拠点・依存症専門医療機関の代表
 - ・ 相談拠点機関
 - ・ 依存症対策担当部局
- ②事務局：長崎県福祉保健部

3. 取組状況

第1回協議会：令和3年8月4日

第2回協議会：令和4年7月29日

- ①各県の依存症対策の情報共有
 - ②医療従事者等へ依存症に理解のある人材を増やすためのe-ラーニングプログラムの作成
※令和4年9月1日運用開始
(e-ラーニングプログラム構成)
 - ・ 依存症総論
 - ・ アルコール健康障害
 - ・ 薬物依存
 - ・ ギャンブル等依存
 - ・ ゲーム依存
- 令和4年10月14日時点受講者数 429名

【参考】e-ラーニングプログラム事例

